

## 医療安全教育セミナー(技術編)2020

(日本語社会人教育プログラム)

### --医療技術リスクとその対策--

うっかりミス(患者取り違い、薬物の取り違い、画像取り違いなど)、コミュニケーションエラー、システムエラー、貧弱なガバナンス、医療経営問題、等のヒューマンエラーが膨大な医療事故を誘発しています。

また、医療技術の評価の本質はその便益とリスク、つまり有効性と安全性の両面から行うことです。医薬品の効果とリスク、放射線治療での効果とリスク、侵襲的手術の効果とリスク、診断・検査の効果とリスク、看護技術の効果とリスク、医療機器の効果とリスク、等々…。ハイリスク医療技術も医療事故を誘発しやすいものです。

従って、医療安全の推進にはヒューマンファクターによる安全性向上だけでは不十分で、技術リスクに対する安全性向上と合わせて、両面からの活動が必須です。

以上の背景から、日本医療安全学会の学術教育委員会(教育・研修)では、医療安全教育セミナー(技術編)を今年度から開催する運びとなりました。本セミナーの目的は実際に発生した重大医療事故を誘発した医療技術そのもののリスク、つまり技術の脆弱性を正しく理解し、それによる事故発生を予防する強靱な方策を理解することです。

本技術安全セミナーもまた、あなたの医療機関における医療安全文化の向上にとって不可欠です。

2020年8月

日本医療安全学会 学術委員会(教育・研修)